

平成 25 年 7 月 1 日

各チーム関係者 様

第 43 回全日本中学生ホッケー選手権大会
トーナメントディレクター 馬場 治男
アンパイアマネージャー 平尾 豊

JOC ジュニアオリンピックカップ

第 43 回全日本中学生ホッケー選手権大会における確認事項について

初夏の候、皆様方におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃から中学生のホッケー指導にご尽力賜り誠にありがとうございます。各チームにおかれましては、ブロック大会を目前に控え準備に余念がないことと思っております。

さて、今年度も全日本中学生ホッケー選手権大会の開催に向け、岐阜県各務原市の実行委員会を中心に準備を進めているところです。大会を一ヶ月半後に控え、既に各チームには、常任委員の先生方からの伝達や中学校部会 HP をご確認いただきご理解のこととは思いますが、競技規則の運用等における当大会の確認事項を下記の通りご連絡申し上げます。

記

1. 競技の開始は「センターパス」により行う。
2. いわゆる「OWNゴール」規則は適用せず、得点要件は従来の規則のまま実施する。
3. フリーヒットの要件が適用される再開プレイの方法について、スクープ等を使って直接上げることができる。(安全面への配慮)
4. フリーヒットの要件が適用される再開プレイの方法について、6月12日付で「ドラック(引きずり)や直接ドリブルすることが認められる」通達文書が出ているが、中学校部会の第1回常任委員会(H25.5.25.)の確認の通り、「ドラック(引きずり)や直接ドリブルすることなく、セパレートアクションを明確にする」こと。
5. マウスガード(マウスピース)について、今年度より義務化とする。
装着ができない正当な理由がある選手については「未着届」を提出する。
(大会申込時に提出する)
6. 今年度のJHA競技運営規程に則り、アンダーウェアはユニフォームと同色とする。
7. 今大会のコートのラインについて、片側のサイドラインとサークル及び破線は「マジックテープ」とする。
11月に国際大会を控えているためペイントができないことをご理解願いたい。